

《国分寺台地区》
世帯数 11,826 世帯
人 □ 24,774 人
男 12,498 人
女 12,276 人
15歳未満 2,690 人
65歳以上 7,588 人
(75歳以上 3,992 人)
令和 7 年 8 月 1 日現在

国分寺台 地区社協だより

令和 7 年 9 月 第 19 号



市社協
イメージキャラ
よつばちゃん

ともに支え合い ともに明るい未来を育むまち 国分寺台

国分寺台地区社協の基本目標は、市原市や市原市社会福祉協議会の
中期社会福祉計画と地域ニーズから設定しています。

- 基本目標1 地域の誰もが互いに支え合うコミュニティづくり
- 基本目標2 地域の繋がりを豊かにするための仕組みづくり
- 基本目標3 地域で安心して幸せに暮らすための基盤づくり



共に支え合う街づくりに参加を

市原市社会福祉協議会（市社協）では、団塊の世代の皆さんが後期高齢者になるなど地域の
高齢者世帯の増加に対応するため、日常生活支援事業の推進に力を入れています。日常生
活支援事業は、地域住民同士が協力して日常生活上のちょっとした困りごとの解決に取り組
むことを目的とした事業で、地域の皆さんができることを持ち寄り、支えながら共に生きて
いく「地域共生社会」の実現を目指しています。

国分寺台地区では令和 5 年から日常生活支援事業への取り組みを開始しましたが、現時点
では支援人数も少なく、民生委員の方などの依頼に絞り、実績はまだ少ない状況です。

市内では、平成の時代から既に取り組んでいる地区が 4 地区（辰巳台、ちはら台、三和、
有秋）あり、活動の支援者数も多く支援内容も多岐にわたっています。

庭木の剪定や草刈りなどの外回り、高齢だと困難になる高窓の掃除や電球交換、家具の移
動、社会参加のつもりで支援ボランティアに登録しませんか？（事業詳細は次号で報告）

実施前



日常生活支援事業

実施後



国分寺台地区社協の実績(2024 年)、玄関前や駐車場周りなどの庭木の伐採作業を実施。

地域食堂「コンパス」開催中

独居や共働き家庭の増加に伴い、食事を一人で摂る高齢者や子供が増えています。そのような状況下で、「孤食による偏食や心身の疾病予防」と「地域での異年齢交流の場の提供」を目的に国分寺台地区社協では地域食堂を定期的を開催しています。

日時：原則・毎月2回 第1・第3金曜日 定員25名
午後3時～午後6時（受付は午後5時まで）

対象：国分寺台地区の小中学生、独居高齢者
内容：様々な人が集まる場所を提供し、食事や遊びなどを通して交流の場づくり

場所：国分寺公民館 工作室・調理室

費用：無料

- ◎食事はカレーライスやシチューなどですが、アレルギー除去食には対応していません。
- ◎小学生は、保護者による送迎をお願いします。



デザートもいろいろ出ますよ。



公民館の調理室でみんなで頂きます。

子どもの居場所「トリノす」も開催中

「遊びも勉強もみんなでやると楽しいね！」を合言葉に、学習の支援や様々な人とのかかわりを通じて、子どもたちが自分らしく安心して過ごすことのできる場（子どもの居場所）を提供することが目的の地区社協の事業です。

日時：原則・毎月2回 第2・第4金曜日
午後3時から午後4時まで

対象：国分寺台地区在住の18歳未満の方

内容：小中学生の勉強支援など

場所：国分寺公民館 工作室

費用：無料

- ◎参加者の送迎はしていません。
- ◎小学生未満のお子様の参加については、ご相談ください。



8月22日、トリノすとコンパスの合同例会を開催しました。

「コンパス」と「トリノす」に参加希望の方は、電話、メールにて開催日の1週間前までにお申し込みください。メールには必要事項（氏名・学校名・学年・保護者名・電話番号）を明記しお申し込み下さい。右のQRコードからも、お申し込みいただけます。



申込み先：国分寺台地区社協

TEL: 070-5589-0658(火・木曜日 10時～12時のみ)

MAIL: ichiharavc2@bd.wakwak.com

市原市社協(地区担当) TEL: 0436-24-0011

フードパントリー開催

国分寺台地区社協では、子育て家庭を対象としたフードパントリーを年間4回程度の頻度で不定期開催しています。今回は、5月17日に国分寺公民館の工作室を使って開催しました。

事前に申し込まれた20組強のご家族が訪れ、用意した食料品やお菓子などは短時間でなくなりました。関心のある方は、地区社協にお問い合わせください。



フードパントリー開始直後です。選ぶのに迷います。



フードパントリー開始直後です。奥にはお米も準備。



フードパントリー終了間際、残り少なくなりました。

バリアフリーサロン

市社協では、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、地域の身近な場所で誰もが気軽に集い交流することのできる「共生型サロン事業」の実施・普及を推進しており、実施に当たっては参加者（利用者及びスタッフ）に協力費として運営費の補助を行っています。

サロンの実施に当たっては、地区社協が当該地区内の地域活動団体と連携・協働のもと、社会福祉施設およびボランティア等の協力を得て運営することになっています。

国分寺台地区社協では、「共生型サロン事業」として地域内の複数のサロン事業に支援や補助を行うとともに、バリアフリーサロンを定期的に主催して茶話会やスポーツ交流会を実施しています。

右の写真は、6月8日（日）に国分寺公民館で開催したサロン風景です。次回は10月12日（日）午後1時30分からの予定です。気軽に参加できるサロンですので、今後多くの方の参加をお待ちしています。



国分寺公民館の体育室がボッチャ競技場に。



ボッチャは年齢に関係なく参加できます。



赤青どっちの勝ち？ 白球に近い組が勝ちになります。

台小学区フレンドネット「おり紙ヒコーキ大会」開催

夏休みが始まり、国分寺台小学校校庭で開催されるラジオ体操初日の7月21日(月)祝日の朝、国分寺台小の体育館で毎年恒例の“おり紙ヒコーキを飛ばそう”が開催されました。

全日本おり紙ヒコーキ協会会員の松崎幸弥氏による指導のもと、子ども28名、中学生と大人32名の合計60名の参加者が、紙ヒコーキを折って、その滞空時間を競い合いました。

毎年家族で参加してくれる方、初めて参加する方のどちらも楽しい夏休みの思い出となったことでしょう。(下図：折り紙ヒコーキを一斉に投げて、競技開始です。)



最近、聞きなれない言葉が沢山出てきます。皆さんはどれだけ聞いたことがありますか？

2040年問題： 団塊の世代が後期高齢者になることで生じる社会問題を2025年問題と言い、大きな話題となりました。団塊ジュニア世代が65歳以上を迎えるのが2040年、少子高齢化が進むことで発生する社会的・経済的な諸問題を2040年問題と言うそうです。

フレイル： フレイルは、身体的機能や認知機能が徐々に低下しつつある状態のことで、健康な状態から介護が必要な状態へと変化する途中にある段階のことを指します。

コミュニティ・スクール： コミュニティ・スクールとは、学校と保護者、地域の方などで構成された「学校運営協議会」を設置した学校のことです。法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とその為に必要な支援について協議する合議制の学校運営協議会が各中学校区を単位として設置されることで、当地区では今年度両中学校区で設置されました。

ボランティア大募集！！

地区社協の様々な活動(事務・運営・作業支援など)は、地域の皆さんにより支えられています。



簡単な仕事なら社会参加のつもりで手伝えそうと思う方、子供たちや幅広い人々との触れ合いの機会を持ちたい方、同世代との会話を楽しみたい方、支援ボランティアに登録して一緒に活動をしませんか？

詳しくは、地区社協または市社協にお問い合わせ下さい。

【問合せ先】

国分寺台地区社会福祉協議会

〒290-0075

市原市南国分寺台4-1-4 3階

電話 070-5589-0658

(火・木曜日、10～12時)

E-mail ichiharavc2@bd.wakwak.com



【問合せ先】

社会福祉法人 市原市社会福祉協議会

〒290-0075

市原市南国分寺台4-1-4

電話 0436-24-0011

FAX 0436-22-3031

URL <http://www.ichihara-shakyo.or.jp>